令和5年中の交通事故発生状況

区　分	人身事故件数		死者数		負傷者数	
	件数	増減数	人数	増減数	人数	増減数
愛　知　県	24,547	722	145	8	28,990	918
稲　沢　市	372	△ 9	4	△ 1	415	△ 21

【 愛知県の状況】

令和５年の人身事故件数は、令和４年より７２２件多い２４，５４７件となり、３．０％の増加となりました。交通事故死者数は １４５人（８人増）となっており、交通事故情勢は引き続き厳しい状況にあります。

〔 交通死亡事故の主な特徴 〕

年齢層別では、高齢者（６５歳以上）が ７０人（６人増）、一般（２５～６４歳）が ６０人（８人増）、若者（１６～２４歳）が １３人（７人減）、こども（１５歳以下）が ２人（１人増）となっており、　一般と若者、こどもの世代の交通死亡事故が増加しています。

当事者別では、歩行者が６１人（５人増）、四輪車が ２９人（７人減）、自転車が２５人（５人増）、自動二輪が ２０人（５人増）、原動機付自転車が ９人（１人減）の順に多く、歩行者、四輪車の事故が目立ちます。

【 稲沢市の状況】

令和５年の人身事故件数は、令和４年より９件少ない３７２件、負傷者数は、令和４年より２１人少ない４１５人となりました。交通事故死者数は、令和４年より１人少ない４人でした。

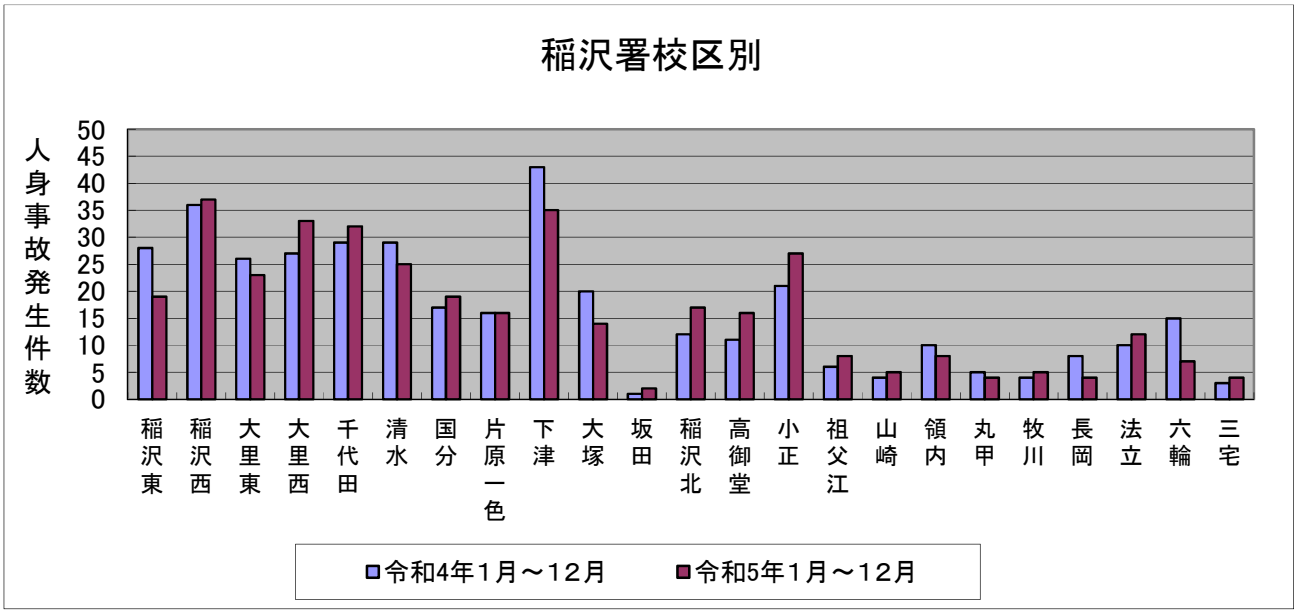
〔 交通事故の主な特徴 〕

人身事故の類型別では、出合頭事故と追突事故で全体の約６０％を占めています。

また、時間帯別では９時から１８時、法令違反別では安全不確認や前方不注意、道路形状別では交差点での事故が多くなっています。

地域別では、稲沢 ３１５件（１件減）、祖父江 ３４件（３件減）、平和 ２３件（５件減）となっています。

小学校区別では、稲沢西、下津の順で発生件数が多く、稲沢西、大里西、千代田、国分、坂田、稲沢北、高御堂、小正、祖父江、山崎、牧川、法立、三宅が前年に比べ増加しています。



【 事故を起さない　事故に遭わないために】

・運転者も歩行者も心にゆとりを持ち、交通マナーを守りましょう。

・夜間の外出には、明るい目立つ色の衣服や反射材を着用しましょう。

・全席シートベルト・チャイルドシートの着用を徹底し、スピードは控えめにしましょう。

・道路を横断する際は、左右をしっかり確認し、無理な横断はやめましょう。

安全・安心のまち　いなざわをつくりましょう。